

研修の概要（柳井市立新庄小学校）

1 研究主題について

子どもたちが主体的に楽しく学べる授業づくり
～個別最適な学び・協働的な学びの実現をめざして～

2 主題設定の理由

昨年度10月の山口県学習状況確認問題実施後、本校の児童は、難しい課題に直面したとき「粘り強く取もうとする意欲」「じっくり考えて答えを出そうとする意欲」、「学習したことを活用する力」が低いということが課題として挙げられた。ここ数年、主体的・対話的で深い学びをテーマに（R元、R2、R3は「深い学び」に焦点を当てて）授業づくりに取り組んできたが、ここで今一度「主体的」に焦点を当て、授業づくりに取り組んでいく必要があると考えた。

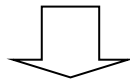
本校の学校教育目標「楽しく学び、良さを認め、元気に遊ぶ児童の育成」にもあるように、児童一人ひとりが楽しく学ぶために、「わかる！できる！」喜びや達成感を味わうことができる授業づくりをめざしていきたい。

3 育てたい児童像 「めざすゴール」

主体的に学習に取り組む児童・・・「学ぶことに興味や関心をもち、粘り強く取り組む児童」

「主体的な学び」とは（「中教審答申」より）

学ぶことに興味や関心をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる。



主体的に学ぶ児童の姿

- ・ 学ぶことに興味や関心をもち。
- ・ 自己のキャリア形成の方向性と関連付ける。
- ・ 見通しをもち。
- ・ 粘り強く取り組む。
- ・ 自己の学習活動を振り返って次につなげる。

4 研究内容

(1) 研究仮説 「めざすゴールまでのイメージ」

※個別最適な学び・協働的な学び

学ぶことへの興味・関心をもちさせる

粘り強く取り組む活動を設定する

学習したことを活用する場を設定する

わかる！ できる！

楽しい！

「もっとやってみよう」（興味・関心）「もっとがんばってみよう」（粘り強く）「活用しよう」（活用）

主体的に学ぶ姿

※ 「個別最適な学び」…学習の個性化・指導の個別化 「協働的な学び」…多様な他者とのかわり

(2) 主題解明の手立て「どのようにやるか」

- ①「個別最適な学び」「協働的な学び」について共通理解する。
- ②「興味関心」「粘り強く」「活用」を重点取組項目にし、授業づくりをする。
→手立て「個別最適な学び」「協働的な学び」

5 研究方法

(1) 日々の授業実践

(2) 一人1授業公開 (全員が1授業を公開する)

- 全体授業以外の公開授業は、(低・中・高学年)ブロック内で参観する。
- 授業前、または授業後に研究協議を行う。
- 全体授業以外の公開授業は、授業を行う日程を前週に知らせる。前日までに指導案を配布しておく。
- 授業者はまとめて考察を書く。(「一人1授業のまとめ」 2月中旬提出)

6 研修計画

月	研 修 内 容	
	校内研修 (◇授業力向上 ○学力向上 ・その他)	その他の研修
4/5 ①		
4/20 ②	◇研究主題・研究内容・仮説などの検討、共通理解 ◇研修活動計画の立案・確認 <u>○本年度の学力向上の取組について</u> <u>○家庭学習の手引きの見直し</u>	
		・市教研 (5/9 柳井小) ・救急法講習会 (5/20)
6/9 ③	◇全体授業に向けて (指導案検討) ◇ipad 研修	
7/25 ④ 7/26 ⑤	・ 服務研修 (校長) ・ 特別支援教育 等の研修	・ 市教研教科・分野別部会 (7/28)
8/25 ⑥	・ 復伝 (教育課程 等) ・ 人権教育の研修	・ やない教育の日 (8/19) 柳井市小中学校教育研究大会・講演会 学校人権教育研究会 ・ 余新合同研修会 (8/24)
9/21 ⑦	◇全体授業 授業説明	
10/19 ⑧	○学力定着確認問題 まるつけ 等 ○前期学力向上プランの評価・後期学力向上プラン作成	
11/16 ⑨	◇全体授業 (生活科・総合) 授業・協議 ◇全体授業 (体育) 授業・協議 <u>(市教研授業研究会)</u>	
1/20 ⑩	◇本年度研修のまとめに向けて	
2/17 ⑪	◇本年度研修のまとめ	

【実践事例① 示範授業】 第7回 校内研修「授業づくり研修」 9月21日(水)

山口大学教育学部附属光小学校 兼安陽一郎 先生に本校5年生を対象に「単体量あたりの大きさ」の授業をしていただきました。

兼安先生から御指導いただいた「授業づくりの大事なポイント」について振り返り、授業づくりに生かしていきましょう。
(以下 兼安先生からいただいた資料より、抜粋)

算数科の授業づくりのはじめの一步は、
子どもに数学的に価値ある「問いをつかませる」こと

- 子どもは、本時の問いを自分事として捉えたとき、自ら学びを進めていく。
- 子どもは、不安定な状態(「あれ?」「どうして?」「本当かな?」「なぜ?」)を乗り越えるために主体的に動き出す。
- 「問い」につながる4つのずれ

感覚とのずれ

予想とのずれ

既習とのずれ

友達との考えのずれ

子ども同士の表現をつなぐことができるような対話を
教師が演出していくこと

- 解決の結果を検証し合うためのペア対話
「ちょっと近くの人と相談して、Aさんが言ったことについて確認してみてください。」

子ども達が言いたくて仕方がない状況をつくる。

「今の話について、もう一度自分の言葉で説明できる人。」

学び合いには、聞き手を育てることが第一。

- 語り始めの言葉を示して、無理なく自然に表現変換
「つまり・・・」(具体的→一般化)「例えば・・・」(抽象的→具体的)

子どもは表現を変換することで理解を深める。

- 大事なことは教師が先に話さないように発問を工夫

教師が先に答えを言ったり説明したりしてはいけない。大事なことは子どもに話をさせる。

授業の中で「自分が答えを見つけた!」と思う瞬間をつくれるように。



第2学年 生活科「うごくわたしのおもちゃ」

子どもたちが主体的に学ぶ姿を見取りましょう！

市教研の授業研修会ではありますが、校内研修のテーマにつながる「主体的に学ぶ子どもたちの姿」にも注目して参観できるといいですね。

<授業参観の視点①>

☆学習活動2 おもちゃの特性を活かした遊び方を考える場面

☆教師の働きかけ(手立て) 地域の方のアドバイスをもらう時間を設定



協働的な学び(多様な他者との関わり)

個別最適な学び・・・個別にアドバイスをもらえる。

☆見取りたい姿

地域の方との関わりの中で、新たな視点をもって意欲的に活動する姿

おもちゃをよりよくしたい・・・ みんなで楽しく遊ぶにはどうしたらいいかな・

「ゴムで飛ばすロケットのおもちゃで高さを比べたゲームにしようかな。」

「得点を競うために、的を作って点数をつけたらどうかな。」

「まっすぐ進むコースではなくてグネグネ回るコースを作ろうかな。」

<授業参観の視点②>

☆学習活動2 おもちゃの特性を活かした遊び方を考える。

☆教師の働きかけ(手立て) おもちゃを補修するための道具や材料を準備して

おき、いつでも直すことができるようにする。



個別最適な学び(環境整備)

☆見取りたい姿 試行錯誤しながら根気強く課題に向かう姿

<授業参観の視点③>

☆学習活動3 遊び方について交流する。

☆教師の働きかけ(手立て)

楽しい遊び方を考えているグループを適宜とりあげてそのよさを共有させることで、自分たちの考えた遊びについて見直すことができるようにする。



協働的な学び(多様な他者との関わり)

☆見取りたい姿

友だちの意見を聞き入れ、おもちゃのレベルアップにつなげようとする姿

「高さを比べるのが難しかったから的を作ろう。」「いい考えだね。そうしよう。」

「おもしろそうなルールを考えているな。真似させてもらおうかな。」

自分や友だちのよさに目を向けたり、次の学習につなげたりしている「ふりかえり」にも注目したいですね。



第3学年 体育科「フロアバレーボール」

子どもたちが主体的に学ぶ姿を見取りましょう！



「主体的に学ぶ子どもたちの姿」に注目して参観しましょう。



<授業参観の視点①>

☆学習内容・活動 感覚づくり運動・「的当てゲーム」「対面パス」

☆教師の働きかけ(手立て)

◎的当てゲームでは、コースを選択できる場を設定。



個別最適な学び

◇グループの友だちの動きを見て、助言し合う場を設定。



協働的な学び(多様な他者との関わり)



☆見取りたい姿

◎自分でコースを選択し、意欲的に練習する姿

「前は左のコーンを狙ったから、今回は真ん中のコーンを狙ってみよう。」

◇グループで助言し合いながら、意欲的に練習する姿

「〇〇さんのパスの仕方が上手だね。」「こっちを向いて打つと、うまくパスできたよ。」

<授業参観の視点②>

☆学習内容・活動 本時のめあての確認・ふりかえり

☆教師の働きかけ(手立て) 学習カードの工夫

◎学習カードに示してある項目の中から、めあてを選択できるようにする。

◇「ねらいにあったふりかえり」「次の学習につながるふりかえり」を書くために、書き始めを明記する。 次の時間のめあては、(このまま・変える)。理由は、_____。



☆見取りたい姿

個別最適な学び

自分の伸びや課題を意識しながら、めあてを決めたり、ふりかえりを書いたりする姿。

<授業参観の視点③>

☆学習内容・活動 1試合前、2試合目の作戦タイム

☆教師の働きかけ(手立て)

作戦カードや作戦ボードなどで視覚的に示すことで、友だちに思いを伝えやすくする。



協働的な学び(多様な他者との関わり)

☆見取りたい姿

試合をよくするための工夫・改善点を見つけ、言葉や絵、図を使って意見を伝え合う姿。

「アタックは、前のサイドラインをねらってくると思うよ。前を守ろう。」<ポジション>

「アタックの時に相手に分からないように、2人並ぶのはどうだろう。」<動き>

「人がいない所をねらうと点がとれるんじゃないかな。」<アタック>